太平山スキー場リフト修繕仕様書

1　共通事項

（1）着手前に修繕概要もしくは修繕作業手順書、計画工程表、安全管理計画書、緊急連絡体制表を、施工中は実施工程表、修繕日誌、その他監督員が必要と認める書類を速やかに提出すること。

　また、担当課、索道事業者（太平山観光開発株式会社）と着手前および施工中に必要がある場合には十分な協議を行うこと。

（2）契約書に従い、修繕完了後、業務完了報告書（指定様式）に修繕（状況・完了）写真、修繕報告書、必要に応じて機器の仕様書や取扱説明書、その他監督員が必要と認める書類を添付して、提出すること。（添付書類は正・副２部提出）

（3）修繕の結果、設備の欠陥および破損などを発見し、補修または改修の必要があるときは、速やかにその旨を報告すること。

（4）業務実施にあたり、周囲への安全確保には、十分留意すること。

（5）業務は、関係法令、条例および指導に基づき実施すること。

（6）その他業務実施にあたり必要な事項は、担当課・索道事業者の指示に従うこと。

2　修繕内容

　整備修繕内容は下記のとおりとする。ただし、交換する機器および部品等は製造会社の純正品を使用し、整備等も製造会社の整備手順および整備基準に従って実施するものとする。

（1）第１クワッドリフト修繕

　　型　　式　　単線自動循環式特殊索道

　　製造会社　　日本ケーブル株式会社

　ア　握索機６年整備　２５台（シリアル番号J108～J132）

　　型式　36DS104-90

　(ｱ)分解・洗浄・部材交換・点検・組立・その他必要な作業を行う。

　(ｲ)終了後試運転を行い状態を確認する。

　イ　山麓油圧緊張シリンダー更新　２本

　　型式　TCN3-140B-3000-8040R/L

(ｱ)部材交換・点検・組立・その他必要な作業を行う。

(ｲ)終了後試運転を行い状態を確認する。

ウ　索受装置ビームピン及びビームブッシュ更新（15 号、16 号Ａ・Ｂ支柱）

型式　Type400

(ｱ)分解・洗浄・部材交換・点検・組立・その他必要な作業を行う。

(ｲ)終了後試運転を行い状態を確認する。

エ　各支柱脱索検出装置更新　２台

型式　折損式

(ｱ)部材交換・点検・その他必要な作業を行う。

(ｲ)終了後試運転を行い状態を確認する。

オ　山麓常用制動機オーバーホール

型式　TypeP（ディスク径φ840）

(ｱ)部材交換・点検・その他必要な作業を行う。

(ｲ)終了後試運転を行い状態を確認する。

カ　山麓・山頂場内設備保安装置更新

型式　使用場所で異なる（オムロン製他）

(ｱ)部材交換・点検・その他必要な作業を行う。

(ｲ)終了後試運転を行い状態を確認する。

（２）　第２ペアリフト修繕

型　　式　　単線固定循環式特殊索道

製造会社　　日本ケーブル株式会社

ア　索受装置ビームピン及びビームブッシュ更新（1 号、5 号、9 号支柱）

型式　Type400

(ｱ)分解・洗浄・部材交換・点検・組立・その他必要な作業を行う。

(ｲ)終了後試運転を行い状態を確認する。

イ　支柱塗装　（１号柱～１０号柱）

(ｱ)下地処理　　３種ケレン

(ｲ)下塗り　　エポキシ樹脂塗料　　１回（ｴﾎﾟｰﾙｽﾏｲﾙもしくは相当品）

(ｳ)中塗り　　ウレタン樹脂塗料　　１回（ｳﾚﾀﾝｽﾏｲﾙもしくは相当品）

(ｴ)上塗り　　ウレタン樹脂塗料　　１回（ｳﾚﾀﾝｽﾏｲﾙもしくは相当品）

ウ　風速計オーバーホール

型式　三杯式風速計 NEI　２段警報

(ｱ)分解・洗浄・部材交換・点検・組立・その他必要な作業を行う。

(ｲ)気象庁の検定を受け、合格品を納品する。

（３）　第３ペアリフト修繕

型　　式　　単線固定循環式特殊索道

製造会社　　日本ケーブル株式会社

ア　山麓油圧緊張シリンダー更新

型式　TCN3-140B-2300-8037

(ｱ)分解・洗浄・部材交換・点検・組立・その他必要な作業を行う。

(ｲ)終了後試運転を行い状態を確認する。

イ　風速計オーバーホール

型式　三杯式風速計 NEI　２段警報

(ｱ)分解・洗浄・部材交換・点検・組立・その他必要な作業を行う。

(ｲ)気象庁の検定を受け、合格品を納品する。